

第7回大島町地域公共交通活性化協議会会議結果（要旨）

会 議 名	第7回大島町地域公共交通活性化協議会
開 催 日 時	令和6年12月20日（金）午後1時30分から午後2時45分まで
開 催 場 所	大島町開発総合センター2階 大集会室
開 催 方 法	オンサイト、Web会議システムを利用したオンライン会議によるハイブリット形式
委員出席等	木中会長、長野職務代理、中山委員（代理：五十嵐氏）、長谷川委員、田中委員、加納委員（代理：奥林氏）、藤田委員、吉澤委員、鈴木委員、辻委員、平野委員、山本委員、諸田委員
事務局出席者	船木事務局長、中村事務局員、秋田事務局員
議事・報告	<p>【議事】</p> <p>(1) 令和6年度の取り組み内容の中間報告について</p> <p>(2) 令和7年度以降の取り組み内容（素案）について</p>
会 議 資 料	別添のとおり
会 議 結 果	<p>【議事】</p> <p>(1) 令和6年度の取り組み内容の中間報告について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局より資料説明を行った。 <p>(2) 令和7年度以降の取り組み内容（素案）について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局より資料説明を行った。 ・前回一致により承認された。
出された主な意見	<p>・これまでの取組みは評価できる部分が多い。島しょ部という地理的な特性上、他からの支援が得られない中で工夫して取り組んでいる。他自治体では、協議会の中でバス利用者のモニタ制度を実施している。事前に募集したモニタにバスを利用していただき、サービス内容等のチェックや混雑している時間帯等の乗務員が気づけない部分を調査いただいている。そのモニタ結果が参考になればよいと考えている。また、バスの運行時間帯によっては、日中をデマンドに切り替えることも考えられる。他自治体では、朝・夕は通学のために定時定路線、日中は高齢者が利用できるようにデマンド運行とした。スクールバス活用の場合は朝・夕の利用があるため、検討をより深める必要がある。生活者に着眼して、引き続きしっかりと取組みを深めてほしい。</p> <p>・電動キックボードの活用とあるが、来島者のケガで海水浴・レジャーが多いが、次いで自転車が多いと聞く。電動キックボードは自転車よりも事故の危険性が高いため、活用する上では配慮いただきたい。</p> <p>・今回の高校生向けのアンケート調査は利用の可能性を見出すものと捉えるべきであり、正確な需要量の把握とは性質が異なる。教職員が徒歩ではなく自家用車で通勤していることをみると自家用車からバスへの転換の可能性はゼロではない。他自治体で</p>

	<p>は、週1回ノーカーデーを自治体から企業に要望している。そのような取組み・働きかけが重要であると考えられる。例えば、2週に1回でもバスを利用してもらう日を設定するという方法が考えられる。</p> <p>また、オープンハウスも方法として有効である。生活交通の有効性や自家用車との共存等をまちづくりとして考えていくことが重要である。来年度はそのようなまちづくりの観点で検討を深めて、住民を巻き込んで実施いただければと考えている。</p>
問い合わせ先	事務局 大島町政策推進課振興企画係 04992-2-1444